

日本共産党

# しまむら新一の 議員レポート

23.9/11 №19



日本共産党市議会議員  
しまむら新一事務所  
事務所/〒270-0021  
松戸市小金原4-11-29  
☎047-309-2651  
FAX047-309-2652  
松戸・鎌ヶ谷地区委員会  
事務所/〒270-2252  
松戸市千駄堀1810-2

## 一度も発電しない電力会社に1兆2,700億円支払う? —日本原子力発電、それを資金に東海第二原発を再稼働へ—

福島第一原発の事故以来、東海第二原発は、一度も稼動していません。茨城県の住民らが原電を相手取り運転の差し止めを求めた訴訟で、2021年3月には水戸地裁で住民側が勝訴しました。この間

も電力供給の契約をしている大手電力会社5社は原電に基本料金を払い続け、その累計額が10年で1兆2,700億円になりました。国民には電力料金の値上げをしておきながらです!納得いきますか?

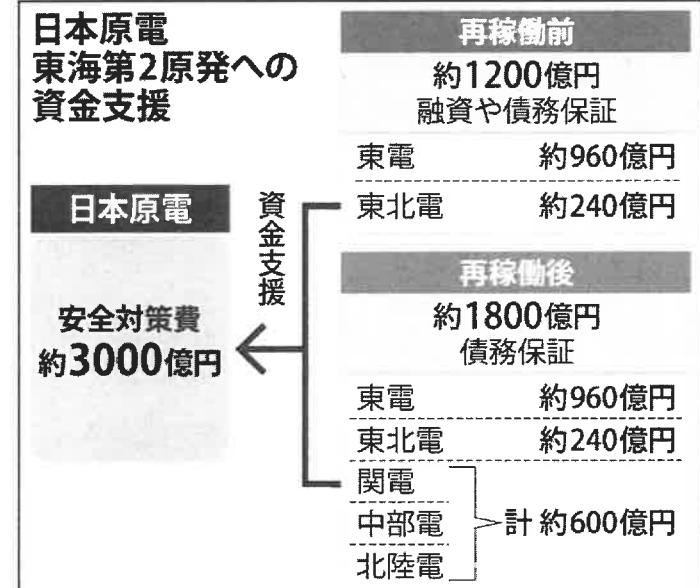
### 結局、国民が原電に払っているの?

一切発電していない日本原子力発電(以下、原電)に大手電力会社5社が巨額の電力基本料金を支払っています。

原電が持つ東海第二原発、敦賀原発2号機は2011年に停止し、12年以上発電していません。しかし、この間も電力供給の契約をしている大手電力会社は基本料金を払い続け、2011~2021年の総額は、1兆2,700億円に上ります。とりわけ東京電力が支払った基本料金は全体の42%を占めています。

2023~2025年には年間550億円もの支払いを見込む一方、東京電力は、福島第1原発事故の損害賠償の原資「特別負担金」の2022年度支払いを「赤字を理由」に免除されました。であれば、東京電力は原電に基本料金の支払い等は

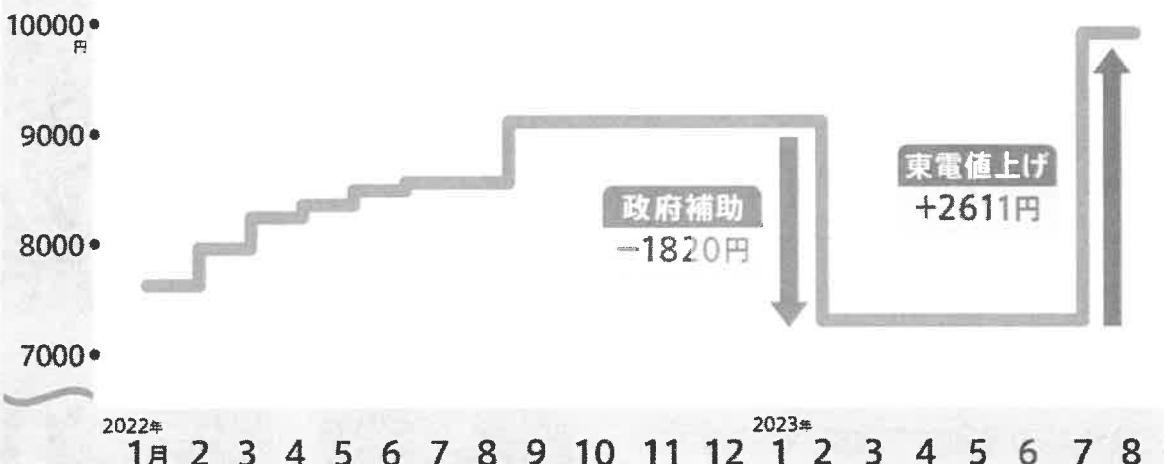
### 大手電力会社から原電に支払われる構図 (10年経過前のもの)



止めるべきでした。

ところが、東京電力の山口裕之副社長は「福島の責任を全う」する責務があるとしながら「原発はカーボンニュートラ

### 東京電力の電気料金推移 (標準家庭使用量260kwh/月のケース)



ル社会の実現に必要な電源だ」などと支払い続ける姿勢を示しました。

大手電力会社が原電への巨額の支払を続けている一方で、政府は大手電力会社の電気料金の値上げを了承したというこ

とは、国民に原電への基本料金の支払いを丸投げしているのと同じです。風力発電事業に関連して受託収賄容疑で東京地検特捜部に逮捕された前自民党議員と比べても、こちらはより〇〇だと考えます。

### 東海第二原発事故での広域避難は困難!

茨城県の住民ら224名が原電を相手取り東海第二原発の運転の差し止めを求めた訴訟を起こしたのは2012年7月でした。その間、原子力規制委員会は18年9月、被災原発としては初めて、新規制基準にもとづく安全検査への「合格」を、同年11月には最長20年の運転延長を認め、22年12月を工事完了のめどに再稼働をめざしていました。

住民らの訴訟は、2021年3月18日水戸地裁に起こしました。前田英子裁判長は「人格権侵害の具体的危険がある」と述べ、差し止めを命じるという判決を下しました。主な争点は、耐震設計の基準になる地震の揺れの評価や人口密集地での広域避難計画の策定などでした。

前田裁判長は、避難計画体制が整って



2011年以来、停止している東海第二原発いるというが「防災体制は極めて不十分で安全性を欠け、人格侵害の具体的危険性がある」とし、「多数の周辺住民の生命、身体に重大かつ深刻な被害を与えることになりかねない」と断じたのです。つまり、広域避難は困難と。松戸市議会でも毎回、取り上げられています。

# 東海第二原発、いらない！ 東葛デモに約130名が参加！

## 東海第二原発の再稼働反対！

9月2日（土）、午後15時15分より柏市役所前にて「東海第二原発いらない！東葛デモ」が東海第二原発いらない！東葛デモ実行委員会（6市、7つの反原発の市民団体で構成）の主催で行われました。

茨城県は東海第二原発に事故が起きた場合を想定し、東葛6市にも避難者の受け入れを要請し、協議を重ねてきました。柏市は、東葛6市の取りまとめ役となり、茨城県や関係機関等の連絡調整を行っているようです。

デモ出発前の集会では、東葛6市の市長あてに「多くの問題を残したままで東海第二原発を再稼働することに反対してください」という要請文を実行委員会の代表者が読み上げ、柏市の担当者に手渡しました。

松戸市からは、東日本大震災被災者支



実行委員会の代表者が要望書を渡す

援千葉西部ネットワークなどの皆さんらが参加しました。集会後は、市役所から駅までの約1.8kmを、参加者は手作りのプラカードを掲げ、鳴り物を鳴らしながら「福島原発事故は終わってない」「汚染水を海に流すな」「原発なくとも電気は足りてる」などとシュプレヒコールし、駅まで行進しました。買い物客でにぎわう土曜日の午後、市民にアピールできました。



柏市役所前で集会の準備をするデモ参加者の皆さん



駅前商店街地域をめざして歩くデモ参加者の皆さん

## 東海第二原発いらない！東葛デモ実行委員会からの呼びかけ

を継続しています。

そしてもう一つは、同原発再稼働に反対する首都圏の皆さんとともに「東海第二原発いらない！首都圏ネットワーク」を立ち上げ、2021年9月よりコロナ禍の下、大きな集会を避ける地域分散型の一斉反対行動（3ヶ月ごとにこれまで計8回、行動数延べ533ヶ所、参加者数延べ約7,000人）を行ってまいりました。これからの行動や活動をさらに発展させるのが東葛デモです。

私たち、千葉県東葛地域（我孫子市、柏市、鎌ヶ谷市、流山市、野田市、松戸市の6市）で活動している市民団体が集ったグループです。来る9月2日に「東海第二原発いらない！東葛デモ」を企画しました。これは、来年2024年9月に予想される東海第二原発く（株）日本原子力発電の再稼働に対し、東葛地域からより大きな反対の声を上げていこうというアクションです。ぜひ、東葛6市はもとより周辺の多くの市民の皆さんにも参加していただき、大きな市民の声にしていきたいと思います。ふるってご参加ください。

さて、これまで私たちは同原発再稼働に反対するために以下の二つの取り組みをして参りました。ひとつは、2019年に展開した「東葛地域の市長に対し東海第二原発再稼働の住民説明会開催を求める署名活動」です。署名は、9,244筆集まり、東葛6市長は一致団結して原発事業者による住民への説明を求める約束し、日本原子力発電株式会社との交渉を継続しています。住民説明会を実現するために私たちも不定期に6市と会合

## どうする原発・汚染水 “安全”ってホントですか

### 第18回DVD上映会・講演&話し合い

たんぽぽ社 共同代表 山崎久隆氏をお迎えして

\*汚染水関連DVD上映、山崎さん講演&質疑応答、話し合い

※コロナ対策にご協力ください（消毒・検温・マスクの着用）。

資料代は500円です。

10月14日(土)15:30～17:30 小金原市民センターホール

主催 「原発・放射線問題を考える」市民の会 連絡先 田中384-7593/大澤341-3696